株式会社 エム・システム技研

コンパクト変換器 ペースプット シリーズ

取扱説明書

パルスアイソレータ

形 式
F2PP

ご使用いただく前に

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

・変換器.....1台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

ご注意事項

●供給電源

・許容電圧範囲、消費電流
スペック表示で定格電圧をご確認下さい。
定格電圧 24 VDC の場合 DC 24 V±10 %、約 80 mA

●取扱いについて

・本体からのコネクタ形端子台の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、入力信号を遮断して下さい。

●設置について

・屋内でご使用下さい。
・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
・周囲温度が -5 ～ +55℃を超えるような場所、周囲湿度が 30 ～ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

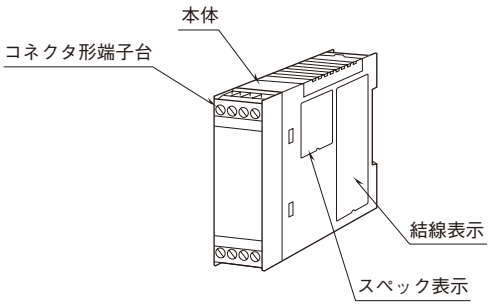
●配線について

・配線（電源線、入力信号線、出力信号線）は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

●その他

・本器は入力信号投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

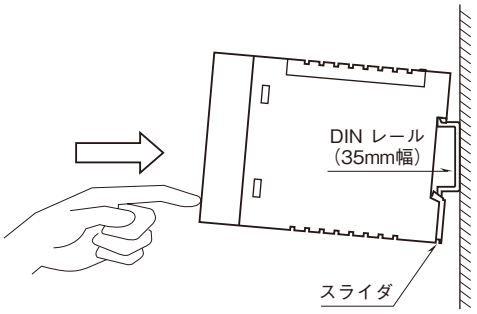
各部の名称



取付方法

本体はスライダのある方を下にして下さい。
本体裏面の上側フックを DIN レールに掛け下側を押して下さい。

取外す場合はマイナスドライバなどでスライダを下に押下げその状態で下側から引いて下さい。



点　検

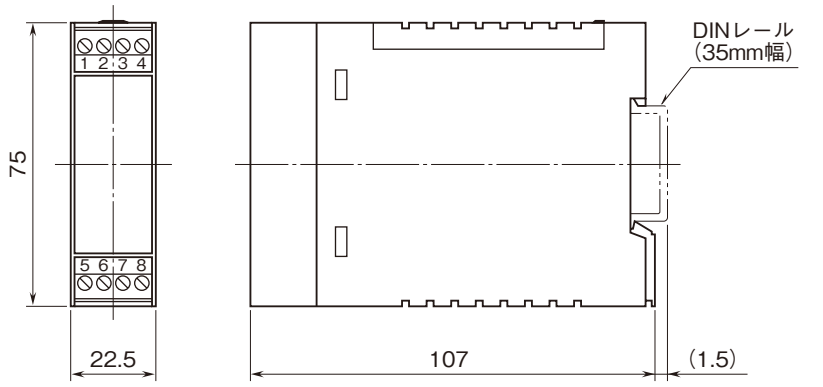
①端子接続図に従って結線がされていますか。
②供給電源の電圧は正常ですか。
端子番号⑦－⑧間をテスタの電圧レンジで測定して下さい。
③入力信号は正常ですか。
・入力周波数は、リレー接点入力 30 Hz 以下、その他のときは 10 kHz 以下になっていますか。
また、出力信号の最大出力周波数以下になっていますか。
・最小パルス幅は、リレー接点入力のときは 10 ms 以上、その他のときは 10 μs 以上になっていますか。
④出力信号は正常ですか。
・出力負荷が下表の通りか確認して下さい。

出力信号		出力負荷
低速用オープンコレクタ		DC 50 V　100 mA 以下
高速用オープンコレクタ		
電圧パルス	5 V	250 Ω以上
	12 V	600 Ω以上
	24 V	1200 Ω以上

接　続

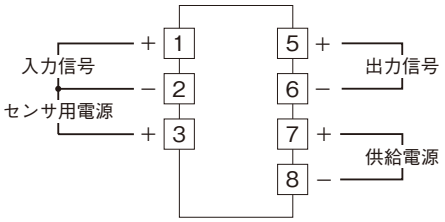
各端子の接続は下図もしくは本体側面の結線表示を参考にして行って下さい。

外形寸法図（単位：mm）



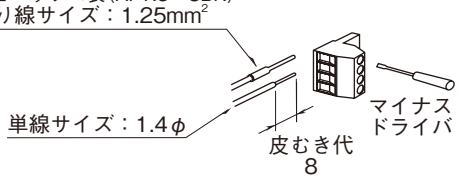
・密着取付可能

端子接続図

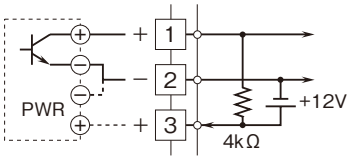


■コネクタ形端子台の接続

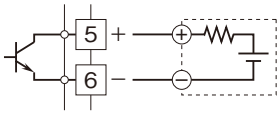
推奨棒端子
フェニックス製(AI 1.5−8BK)
より線サイズ：1.25mm²



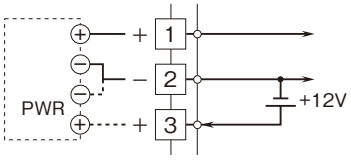
入力部接続例
■有接点スイッチまたは
オープンコレクタ入力



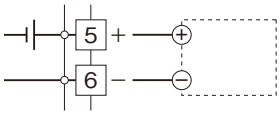
出力部接続例
■オープンコレクタ出力



■電圧パルス入力



■電圧パルス出力



保　証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後３年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。